

2007年11月27日
第20回ICANN報告会
秋葉原コンベンションホール

ICANNアドレス支持組織 (ASO) 報告

~ IPv4アドレス枯渇に関する議論 ~

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
穂坂 俊之

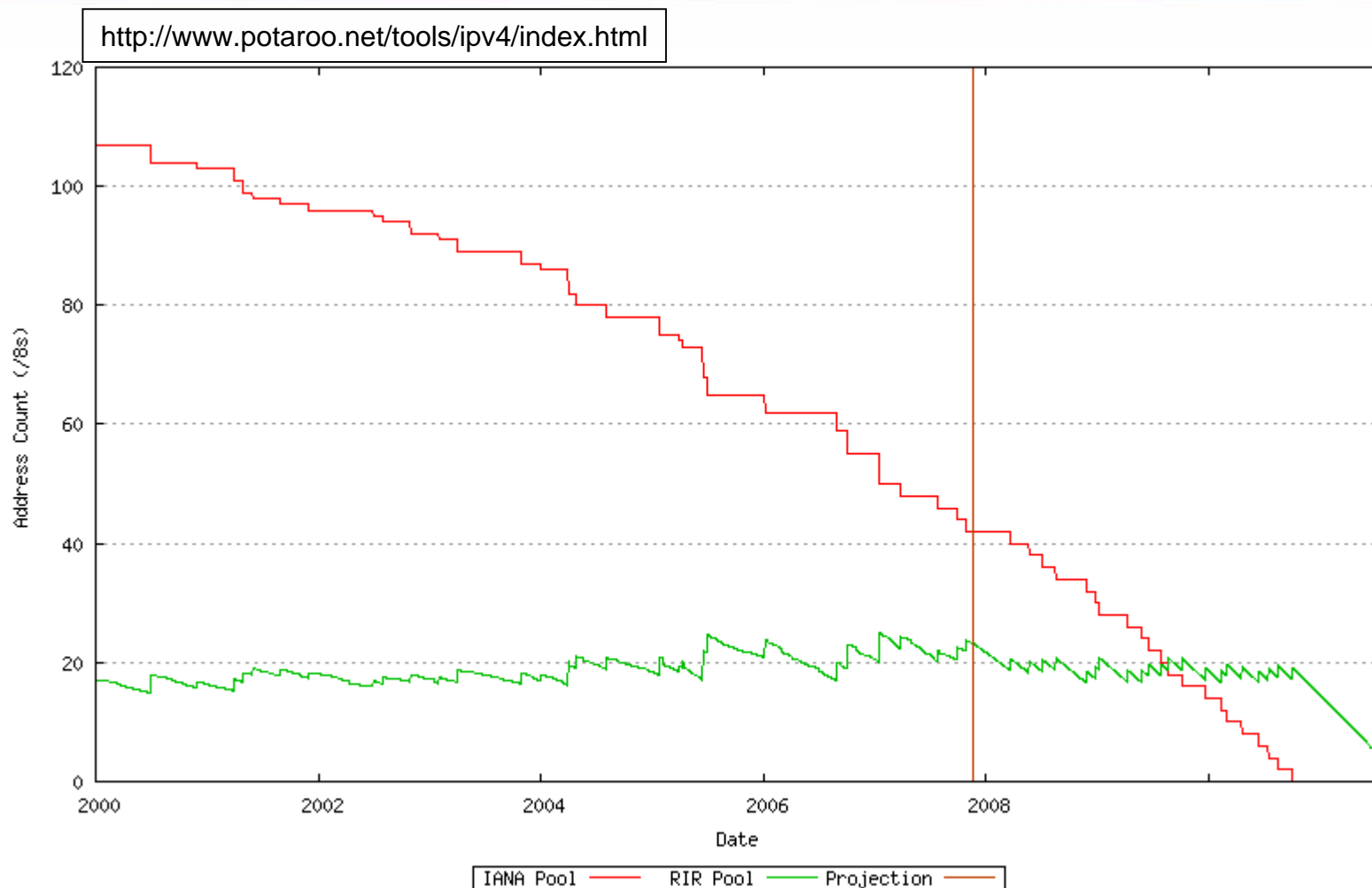
ASOの動向概略

- 各種グローバルポリシー提案の進捗を注視
 - AS番号のIANAからRIRへの割り振りポリシー
 - 5RIRでコンセンサスを得て、最終承認待ち
 - 残存IPv4アドレスのIANAからRIRへの割り振りポリシー
 - 最後に各RIRへ1つずつ/8を配布、という方向で検討中
 - もう1ラウンド(5RIRでの議論)が必要の見通し = あと1年
 - グローバルポリシー策定プロセスの見直し
 - トラッキングシステム、ナンバリング...
- IPv4アドレス在庫枯渇に向けたアウトリーチ活動の強化
 - ICANN LA会議でのASOワークショップ実施
- 2008年度の活動計画の検討

ASOワークショップ(2007/10/31)

- IPv4アドレス在庫枯渇が主なテーマ
 - 在庫枯渇の状況
 - グローバルポリシー策定プロセスの説明
 - 提案されているポリシーについて
 - ディスカッション
- At-Largeとの対話
 - 「一般ユーザ向けの言葉を使って、一般ユーザ向けのアウトリーチに取り組んで欲しい」とのコメントを受けた
- ICANN会議の至る所で「IPv4在庫枯渇/IPv6のデプロイメント」が語られるようになった

最新の在庫枯渇予測 (2007年11月21日現在)



IANA在庫枯渇予測時期: 2010年10月3日
RIR在庫枯渇予測時期: 2011年7月26日

RIRからの在庫枯渇に関する姿勢表明

RIR	発表日	主な内容
ARIN	2007/5/21	1. 2010年前後にIPv4アドレスの在庫は枯渇する。
LACNIC	2007/6/20	2. 将来のインターネットの成長を支えるのはIPv6である。
AfriNIC	2007/7/1	3. IPv6の採用を広く推奨する。
APNIC	2007/9/7	4. 在庫枯渇及びIPv6の採用に関する周知活動に注力する。
RIPE NCC	2007/10/26	5. 既存の意思決定プロセスを尊重し、今後もボトムアップでIPアドレスポリシーの策定を行っていく。

(発表日順)

在庫枯渇関連アドレスポリシー提案の今後

- IANAからRIRへのIPv4最終割り振りポリシー
 - 5つのRIRが一斉に同量(/8 1個)の割り振りを受けてIANA在庫終了
 - NROチェアのRay Plzak氏が「来年中には成立の見通し」と
 - ICANN理事会(2007/11/20)で「Early Awareness」のプロセス開始を決議
- LIR間のIPアドレス移管ポリシー
 - 原則禁止とされているIPアドレスの移管を、一定の条件の下認める
 - 必要性は認識されているようだが、慎重な検討が必要との反応
- RIR間のIPアドレス移管ポリシー
 - IANAの在庫終了後は、RIR間でIPアドレスの在庫を融通し合う提案
 - 「IANA在庫枯渇後」に焦点を当てた初めての提案として好評
- 「ソフトランディング」ポリシー
 - IPv4在庫減少に伴い、LIRへの割り振り条件を段階的に厳しくする提案
 - 何故かARINでは好意的

在庫枯渇問題の解決は？

- IPアドレス管理ルール(IPアドレスポリシー)の変更？
 - 変更が全てを解決するわけではない。
- IPv4の回収再利用だけで解決できるか？
 - NO
 - 在庫が枯渇したら、回収がいくら順調に行ったとしても需要(毎年/8 * 10個)に追いつけない
- IPv6の採用だけで解決できるのか？
 - NO
 - IPv4だけで用事が済む人はIPv4を使い続ける
 - 「世界の全ての対地がIPv6に対応する」のは遙か先

IPアドレスポリシー策定以外にも、
問題のさらなる周知等の課題山積。

今後の動き

- JPNICの動き

- 12月に報告書を取りまとめ、公開予定

- 在庫枯渇時期に対応した分配ポリシーの検討、調整
- IPv6への移行をはじめとした IPv4アドレス在庫枯渇の克服策に関する技術的方法論の検討
- 並びにビジネスインパクトの精査

- ICANN/RIRの動き

- IGF (2007年11月) や他イベントでの広報活動
- 2008年2月: APNIC、ICANN
- 2008年4月: ARIN
- 2008年5月: RIPE、AfriNIC、LACNIC

Q&A

